

第16回富山地区学校再編検討委員会 会議録

| | |
|------|------------------|
| 日時 | 平成23年6月1日(水)午後7時 |
| 会場 | 富山公民館 講義室 |
| 出席委員 | 23名(内代理1名) |
| 欠席 | なし |
| 傍聴 | 1名 |

1. 開会

2. 検討委員長挨拶

本日は何かとお忙しい中また夜分遅くにお集まりくださりましてありがとうございます。

今回で検討委員会も16回を向かえ、年度も替わりまた委員の方も多く代わられております。前任者から今までの経緯はお聞きになっているかと思えます。また資料等もお送りいたしましたのでご承知いただけていると存じます。結論統合ということで話が決まり、今後は具体的なことについて専門部会を立ち上げ、来年の4月に向けまして万全を期していきたいと考えております。お仕事をもちながら集まっていたいただき検討していただくのは大変ですが皆さんの協力により、来年4月まで通学支援や学用品、これから決めていく校歌校章など多数あると思えますが、ご検討いただき来年4月に子供達が安心して登校出来るようにご尽力いただければと思います。よろしくご検討をお願いいたします。

3. 教育長挨拶

夜分にご出席いただき大変ありがとうございます。

前年度の2月に開催した第15回会議の結果として、意見具申をいただきました。その後、条例改正等の準備を進め、この会議についても委員長さんからもありましたように専門部会を立ち上げ、来年4月1日スタートに向け進めていきます。その点についてご協議いただくとともに、前回の会議で申し上げましたが、小学校のみならず中学校のあり方についても協議いただきたいと、私どもも考えておりますので、その点についてもよろしくお願ひしたいと思います。

委員の皆様も、協議開始から3年経ち、一段落ついたのではないかというお気持ちもあるかと思えますが、年度も替わり新たな気持ちで富山地区の小学校中学校のあり方について、率直なご意見をいただければ大変ありがたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

4. 委嘱状交付

平群幼小PTAの鈴木宏一さんですが、現在半年間の研修に出ておりました、会議にはなかなか出席できないとのこと。平群幼小PTAの方々から広く保護者の意見を聞いて欲しいという中で、代理に鈴木恵さんにその間代理として認めて欲しいという要望が出ておりますので、その点いかがでしょうか。

(全委員承諾)

5. 委員紹介

6. 報告

事務局からの報告について、特に質問等なし

7. 議事

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」

委員長 許可します。

(傍聴人入場)

委員長 第1号議案「今後の推進方法の本年度の推進スケジュールについて」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

事務局 資料5の説明

委員長 特に質問がないようなので、議案どおりで進めます。

続きまして、②の「各専門部会の選任及び検討事項について」、事務局説明をお願いします。

事務局 資料6から14について説明。資料6・7については所属別の名簿、資料8から14については各専門部会の名簿で作成。次に資料15から18の各専門部会の検討課題や検討スケジュールの説明。

委員長 特に質問がないようなので、各専門部会大変ですが原案どおりお願いします。続きまして議案第2号「富山地区小中学校のあり方について」を議題とします。事務局よりお願いします。

教育長 私の方の提案と致しましては富山小中の一貫校を提案致します。当初、中学校については平成26年度から検討していくという事でしたが、予想以上に生徒数の減り方が激しいため、中学校の統合についても早く対応していかなければいけないということが背景としてあります。

また、この会議が立ち上がった時に、委員の皆様の方から小中一貫校についてもご意見が出ましたが、教育委員会としては平成26年度から中学校を考えていくと言うことで、議論を終了させていただきました。当時、小中一貫校は全国的に多くなく、その後になって小中一貫校の良さが多岐に認められ、全国的に多くなってきている背景もあり、皆様にあらためて

提案することをお許しいただければと思います。

小中一貫校を考えますのは、市内の小・中学校が小規模になり、それに伴い教員の数も少なくなる中で、学力向上あるいは南房総市に愛着と誇りを持つような子供を育てていくためには、教職員の配置に余裕が持てる小中一貫校のメリットを活かした教育を展開することが一番良いと考えているからです。

新しい富山小学校を富山中学校の敷地内に建てることについて、小・中学校別々の学校を建てることよりも、規模から見ても小中一貫校にして校長一人で9年間のスパンで富山の子供を育てていくのが一番良いのではないかと思います。私の説明の後に、それぞれ担当から今の生徒数の状況や、小中一貫校のメリット・デメリットについて説明しますが、すぐ結論を出すとは私共は考えていませんが、皆様方の忌憚りの無いご意見が頂戴できればと思います。

事務局 (児童数の推移を説明。次に長狭学園を例に小中一貫校のメリット、デメリットの説明。)

委員長 只今、富山地区小中学校のあり方について、教育長、事務局から説明がありました。富山中学校に富山小学校を建てるということと児童数の減少などの理由から小中一貫校はどうかと話があったが何かご意見ありますか。

委員 一貫校は良いとの方向性の説明で、そういったメリットもあるかと思うが、6年3年という基本的なものがある以上、部活にしても中学は中学の大会があると思う。その中で勝ったり負けたりして思春期の時をどう過ごすのかもひとつ大きな教育だと思う。

また、幼稚園から中学までの大きな期間にトラブルなど何にもないことは確かに良い事と思うが、社会に出る時の教育の一つとして、小学校から中学校、中学校から高校へ行った時も他の人との交流があり、その時にどう対応していくかもひとつの教育ではないかと思う。一貫校が何もかも良いと言うことではなくデメリットがもっとあるのではないかと思う。

中学校も生徒が150人とか居れば一貫校でも全く問題無く部活も出来ると思う。しかし、どんどん減ることによって、一貫校ではまずいのではないのかというものの中にはあるのではないか。これは一貫校がダメだと言っている訳ではなく、その中でもっと考えることがあるのではないか。子供達にとってどの方法が一番良いのか、一貫校でやるのが地域の学校として果たして良いのかと思うことも多少感じます。今日決めるわけでもないと思いますが、いろいろな方々の意見、あるいは中学の保護者の方々もいるので、意見を聞きながら慎重に進めていく方が良いのではないか。

- 委員長 ありがとうございます。他にありますか。
- 委員 小中一貫校となった場合、小学校と中学校のPTAはひとつになるのですか。
- 事務局 これからPTAについて、皆さんのお考えで案を作っていけたら良いと思います。小学校、中学校のPTAを残しそれぞれを立ち上げていくのか、あるいは1つにするのか。ちなみに長狭学園は小学校中学校ひとつに向けていくことにしました。どちらが良いとは言えませんが、ひとつにする場合どういった人で構成するのか若干工夫が必要となります。細かい部分がこれまでと違った意味で小学校と中学校の兼ね合いがありますので、その辺は検討することになると思います。
- 委員 その場合、専門部会に富山中のPTAから代表者を出すことも考えられると言うことですか。
- 教育長 今年一年の専門部会は、平群小学校と岩井小学校が一緒になり新しい富山小学校を作るという前提でPTAをどうしたら良いのかという話し合いですので、中学校が一緒になると決まりましたら新たな構成の専門部会に変更し、その後の話し合いになるかと思います。本年度につきましては、小学校と中学校のPTAをどうするという結論までは達していないと思いますので、小中一貫と結論いただきましたら、その専門部会で検討してもらうことになるかと思います。
- 委員 最初のところを聞いても良いですか。小中一貫校というのは、いつを目標として始めたいのか、今年度中はどう考えても無理だと思います。小学校の統合だけで中学校までは無理かと思います。いつ頃からこうしたいとか、教育委員会では素案はあるのですか。
- 教育長 早くて新校舎の供用が出来る平成27年度以降になるかと思います。事務局としては、出来れば早く結論を出していただいた方がいろいろな準備を進めていく上でよろしいかと思われます。小学校・中学校を別々でやっていくのであれば富山中学校に建てる校舎についてもその方向で考えていきますし、私共が提案しました小中一貫校で進んでいただけると目途が立ちましたら、小中一貫校の良さをより活かせるような校舎を考えていかなければいけないと思っています。
- 委員 今の教育長の話ですと、この場で小中一貫校という方向で取り組んでくれということなのですか。
- 教育長 そうではなく、私共としては、小中一貫校が富山地区の小学校・中学校のあり方としてよろしいのではないかと考えています。しかし、私どもの提案に対して、富山地区の住民としては別々の学校を考えているなどの結論になれば私共はその結論に従い小中学校を考えていくこととなります。

委員 私が把握していることと少しずれがあるような感じがするが、この検討委員会は先程のお話の中で、先に小中一貫校はどうかと検討委員会の方から話が出たと言いましたね。

教育長 はい、出ました。

委員 それで事務局の説明で、中学校の再編は時機を見て行うということで、平群小学校と岩井小学校の統合でいくと言ったと。私がこの検討委員会に来たのは、小中一貫校を作る検討委員会ではありませんよね。

教育長 はい、小中学校のあり方について検討いただきたいというものです。

ワザバー 平群小学校と岩井小学校が統合し、新しい富山小学校を富山中学校の敷地に建てるということまで決まっている。次に今年度中に富山中学校の敷地を測量に入るということになる。校舎とか体育館がある中で、その敷地内に新しい富山小学校を建てる場合、小中一貫校と考えた場合は、それにあった施設あるいは位置を考えなくてはいけないし、小学校中学校別々に考えた場合は、建物は離しても構わない。要は、設計を始めるのに前提条件が必要ということ。

委員 小学校の統合について検討するために会議に出席していると思っていたが、なぜ小中一貫が提案されたのか、もう一度説明願いたい。

教育長 小中一貫校の話の前に、小学校だけに絞りますと小学校は統合と結論がでており、後はそれぞれの問題について専門部会で話し合い、その内容を検討委員会で了解してもらう段階です。ただ富山地区学校再編検討委員会は、小学校だけの話ではなく中学校も早急に話し合って富山中学校のあり方についても検討していかなくてはいけない時期にきているということでもまずご理解いただきたい。

こういった状況ではありますが、白紙の状態で小学校と中学校のあり方についてどうしますかと問うわけには行きませんので、この地区の様々な状況を考え、小中一貫校で富山地区の学校を考えていくのはどうかと提案させていただきました。

委員 何年先になるかわからない小中一貫校の話は今この検討委員会で話し合うのですか。

教育長 富山中学校敷地に建てる新しい富山小学校の校舎というのは、小学校単独でやるか中学校と一緒に考えていくか、それにより建て方が違うわけです。それについては平成26年度の完成を目指して進めていきます。それとは別に新しい富山小学校が来年4月から使う岩井小学校については、必要最小限の改修を含めて進めていきます。平成26年度完成までには年数がまだありますが、新校舎建築が無理なく実施できるよう、出来るだけ早く方向性の結論を出していただきたいということから提案いたしました。

ワザンバー この検討委員会は、平成27年度から小中一貫を始められるように目指し、同時に既に統合が決定している来年度からの富山小学校の細かい部分を話し合う会議と解釈しているのですが。

委員 新たに建設する小学校の設計段階までにある程度の結論を出さなければいけないと思うが、設計はいつですか。

教育長 この結論が早ければ、一貫校としてのメリットが最大限出せるような校舎設計が可能になってくると思う。結論が遅くなればある程度離れたような形で尚且つ、小中一貫でやれるような建て方を我々で模索していかなければいけないので、少しでも早くと考えています。

委員 ただ今すぐに結論を出すにはちょっと無理がある。だから、地域として富山として区長や地域の人からも意見を聞く期間が欲しい。短時間では無理がある。

教育長 直ぐとは考えていません。最初に示したスケジュールがありますが、7月に入って今年度2回目、8月下旬に3回目、この間に今日私どもが提案したものをいろいろな方のご意見を聞く形にして、回を重ねていけば大変ありがたいと思います。

委員 この検討委員会では、小中一貫校の話ではなく小学校、中学校それぞれの再編の話をする会だと思っていたがどうか。

教育長 第1期は小学校の統合だけで、中学校は第3期から協議するとしてきたから小学校だけについて議論してきましたが、今回私共の方は、富山の校舎建設や市内の中学校生徒数減少などにより、富山、千倉、丸山、和田については中学校についても併せて検討していただきたいとお願いしています。

ワザンバー 一貫校でいくのかあるいは別々でいくのか、早く結論を出して検討していかなければいけない時期と解釈していいですか。

教育長 長い目で見えていった場合に、この富山地区の小中学校というのは選択肢が少ない。統合や小中一貫校あるいは小学校、中学校別々に建てて運動場を共有していくような形、非常に限定された中で選択していかなくてはならない状況になっています。結論を急げというわけにはいかないが、その地区の小中学校のあり方を協議していただいたら、地域の理解が得られる結論に落ち着くのではないかと期待しています。

ワザンバー 学校は統合し平成27年度までには新しい学校を造る。それに間に合うように、小中一貫校にするのか別々にするのか決めてもらわないと事業が遅れるだけだ。少しでも子供たちの環境が良いように作ったほうが良いと思う。

教育長 方向性さえ出れば、その方向へ精一杯がんばります。

委員長 今日初めて話を聞いた人もいると思うので、地域の皆さんからご意見を伺いながら検討してなるべく早く結果を出してもらいたい。

委員 最初に統合の話があった時も地域から市が決めた話に合意するみたいな形に会議が決まってきたと言われ、地域の方々への説明にだいぶ苦労しました。今回も市からの提案で小中一貫校の話が出て、やはりまたいろいろ大変なことになったりしないかすごく懸念される。地域に話がないと難しいかと私は不安な点があります。

教育長 一貫校について計画当初の説明と違うので、違和感を覚えられたかと思いましたが、協議に際して白紙で行くよりも、一貫校の良さをお見せして提案した方が会議を進めやすいと考えたからです。

委員 委員会だけでどんどん決めていくのかとまた地域から出てくると思う。

ワザバー 学校の児童生徒数が少ないとの理由で区域外就学する者もいることは事実。産まれるのを待っていては駄目、他からの転入を考えた方が早い。教育委員会の提案の一貫教育でも良いと思う。統合の形は当初とは違って今この説明聞けば悪いものではないと思う。

委員長 直ぐに結論ではありませんので、委員会としてもいろいろな機会に一般の方や各住民の人から意見を聞き、検討委員会で検討しましょう。

委員 小学校のあり方についての検討会は今後何回ぐらい開催されるのか。

委員長 4回を予定している。

委員 あと4回で話し合うと解釈してよろしいですか。

委員長 目安であるので、その数回でいいとも限らない。皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

委員 新しい提案も出た中で専門部会もあり、3回や4回の会議で大事なこれからの新しい学校のあり方、富山地区の小学校あるいは中学校のあり方を検討する形で不足は無いのか。

委員長 今後の課題として3回4回で終わる話ではないと思いますので、ご意見を聞きながら進めていくこととしたい。

他に意見が無ければ第3号議案「第17回の検討委員会の日程について」を議題とします。事務局。

事務局で調整し概ね7月上旬～中旬ごろを目安に開催したい。

委員長 特にご意見がなければ次回、7月上旬中旬に開催したいがどうか。

委員 異議なし。

委員長 議事については以上になります。次にその他の説明を事務局。

事務局 平成23年度に岩井小学校・平群小学校の閉校記念事業として現段階検討しているものがあれば、各小学校から報告願いたい。

岩井小 閉校実行委員会を7月ごろ目標に立ち上げ予定。現段階では記念誌と閉校式典的な行事を予定している。

平群幼小 まだ話し合っていないが記念誌作成等を考えている。また別にイベントとして、11月に平群フェスタを拡大し記念行事としたい。

委員事務局 新しい富山小学校のお披露目もしたらどうか。

委員事務局 富浦小学校、白浜小学校では、始業式の日に関校式や出発の会を行い、富浦小学校は別の日に新校歌のお披露目会を行った。新しい学校については、そういったことが考えられるのではないかと思います。

委員委員長事務局 折角富山小学校が出来るので、何かひとつ案を出して欲しい。

委員委員長事務局 閉校記念事業関係の予算はどうなっているのか。

委員委員長事務局 岩井小学校と平群小学校では、閉校実行委員会補助金額は若干違うが、基本的には市の予算を措置する。

教育長 新しい校舎を建てるのは市だが、その後10年20年と学校を支えていくのは地域の皆さんです。今後の選択肢の中で小中一貫校が有力ではないかと考えを持っているので、次回意見いただけることをぜひお願いしたいと思います。

委員 小中一貫校について、長狭学園のことだけではなく他に富山地区と同じ境遇で小中一貫校になった学校の例が欲しい。

教育長 極めて小規模校になっている富山中の経営の苦しさというものをぜひお話していただければ保護者の方も納得出来ると思いますので。

委員 やりたい部活も出来ない、活躍出来る場も無い中学ではいけないので、それが一貫校だったらどう良いのかどう悪いのか、子供達に良いものを作ることが一番大事な事なので細かくデータで出してもらいたい。

教育長 市内中学でもやりたい部活がなく区域外就学している生徒がいる。中学校のことは皆さんにご意見もらい早く結論いただきたい。そういう背景もあるので次回また議論したい。

委員委員長 他に意見が無ければ以上で終了する。

8. 閉会
事務局

ご苦労様でした。